

生ごみが消えるって本当？（土を使った生ごみ分解）

クリーン推進課職員が
1年間実践！

○こんな方におすすめ！

- ☑ 家から出るごみを減らしたい
- ☑ 自宅に庭がある又はベランダなどにプランターが置ける
- ☑ お茶がらやコーヒーがらなど水分を多く含んだ生ごみが出る

○どうやって分解するの？

- ・生ごみを土に混ぜると、土の中にいる微生物が酸素を使って、生ごみを水や二酸化炭素に分解してくれます。

○どんなものを入れていいの？

- ・人間が食べるものはほぼなんでもOK！
- ・油や水分は分解を促すので、特におすすめです！
- ・水切りなどもいりません◎

たとえば・・・
こんな生ごみをうめています



- < 8月のある日 >
- ・枝豆のさや
 - ・たまごのから
 - ・キウイの皮
 - ・お茶がら
 - ・揚げものの油
 - ・煮物の残り汁

・油を入れると分解が早くなります

・水切り不要！
・果物の皮もOK!

- < 10月のある日 >
- ・えのきの軸
 - ・みかんの皮
 - ・人参の皮
 - ・大根の皮
 - ・お茶がら
 - ・小松菜の芯
 - ・納豆のたれ



※写真の生ごみは、4人家族の2日分の量（700～900g）です。

問題：1年間の取組で「燃やせるごみ」がどれだけ減ったでしょうか？

※生ごみの重さは、クリーン推進課職員の実績を基にしています。

4人家族1日あたりの生ごみの重さ = 約400g

1人1日あたりの生ごみの重さ × 365日 = 36,500g
(約100g)

答え：1人あたり、1年間で36.5kgの燃やせるごみを減らすことが出来ました！